

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [社会システム論](#) ④
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

社会システム論 ④

オートポイエーシス・システム（自律分散システム）の特徴

高度情報・工業社会の特徴は、大量生産、大量消費、集中化、画一的、極大化であり、そのためそのシステムは複雑で大規模化し、柔軟性のある、しかも多様性と環境適応性が必要になってきました。オートポイエーシス（自動的に生産する）は、システム全体を統合する強い管理機構を持たず、それぞれのサブシステムが自律的に行動しながら、協調的・競合的に相互作用しあい、全体として秩序を形成・維持するシステムのことであります。

これまでの価値観である最適性（効率性）の追求から、機能の「創発」（**創発的組織論**）へ転換していく必要があります。その組織の特徴は次の三点です。

- 1) 自律していて他と協調する— それぞれのサブシステムが自律的に行動しながら協調・競合的に相互作用しあい、全体として秩序を形成し・維持するシステム。
- 2) 個性を持ちながら多様な— 各サブシステムは、それ自身で認知・評価・行動に必要な機能を持ち、周囲と独自に相互作用しながら全体の中のサブシステムとして秩序を形成する機能を持つ。
- 3) 自ら変化して適応する（自己組織性）— 自らの独自性・多様性に基づいて、自らを変化させ環境に適応していく仕組みを自ら創っていく（創発システム）。

【用語解説】

1. 散逸構造論

なぜ宇宙には一定の秩序や構造があるのか。エントロピーの法則（あらゆる物質はほっておくと無秩序に向かう）の法則に逆行する生物の世界の特徴は何か。この新しい秩序を形成するシステムを「ゆらぎ」といい、生物世界では、混沌から秩序ある構造へ自発的に自己組織化する可能性がある。内部でエネルギーを消費（散逸）させるため「散逸構造論」（非平衡状態が保たれる）という。このような複雑な構造を作り出す力が生物だけでないことをイリヤ・プリゴジンが発見した。

2. 創発的組織論

効率的であり、変化に適応して、新たな価値を創造する組織

1. ルールと秩序形成— 強制感や義務感ではなく、自律的に秩序を形成する。
2. 組織目標と活動計画— 部分と全体が一体となって目標達成に向けた機能を発揮する。
3. 本部機能の役割— 方向性を示唆しサブシステムの個性を尊重し柔軟性のある自律的な適応を促す。
4. 地方組織（中間組織）の役割— 本組織には手段になり、末端組織に対しては目的になる。
5. 職場組織（末端組織）の役割— 本部・中間組織と相互補完機能を持ち、環境変化にも自律的に自ら対応して行く。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.